

次に、10番議員の一般質問を許します。10番門脇直樹君。

○10番（門脇直樹君） 質問の前に、元旦に発生した能登半島沖地震、そして2日前の3月11日は東日本大震災から、発生から13年目という忘れられない日でありました。この地震によって亡くなった方、未だ安否が不明な方、被災された方、これらの方々に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をご記念申し上げます。

通告に従いまして、地震に関連する質問を1点いたします。

1月1日午後4時過ぎに、能登半島沖地震は、1年の中で最も人々がのんびりと過ごしていただろうその時に発生し、ご承知のとおり甚大な被害をもたらし、今なおその避難生活と救援活動のさなかにあります。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言いますが、「いつ来るか分からない」のが地震であります。

八峰町でも昭和58年5月26日正午過ぎに日本海中部地震が発生し、同じように尊い命が多く失われたことは、今なお地域の人々の心に深く刻まれた記憶とっていいでしょう。

現在、八峰町には、八森地区42か所、峰浜地区1か所、そのうち階段は11か所の指定避難路が設置されていますが、季節や時間を問わず「いつ来るか分からない」地震が、冬場の降雪時に八峰町周辺に大津波警報が発令された場合、避難路は計画どおり活用できるのか。平常時の除雪はなされているのか。高齢者や体の不自由な人たちへの避難マニュアルはどうなっているのか伺います。

よろしく答弁をお願いします。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの10番議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 門脇議員のご質問にお答えいたします。

当町は、多数の犠牲者を生み、甚大な被害をもたらした「日本海中部地震」の被災地であり、このたびの能登半島地震を踏まえ、津波の恐ろしさを再認識したところであります。

これまで町では、防災行政無線の整備やハザードマップの作成、避難路の整備等に加え、実際の災害を想定した防災訓練や防災講座などを毎年実施してきているほか、県においても、海岸堤防のかさ上げや離岸堤の整備に加え、津波の浸水想定区域図の作成な

ど、ハード、ソフト一体となった取り組みを進めてまいりました。

議員ご指摘の冬期間の災害は、町でも懸念していたところであり、今後、積雪時においても避難に支障がないよう、町道等の除雪態勢を整えるとともに、除雪が困難な避難路に関しましては、冬期間は閉鎖とし、除雪の行き届いている町道を冬期間の避難路として活用していただくよう周知してまいります。

また、現在行っている避難訓練に加え、冬期間の避難訓練についても自治会や自主防災組織等への働きかけを強化してまいります。

さらに、高齢者等の避難については、町で策定している要支援者避難支援計画の情報を、民生児童委員や警察等の関係機関と共有しているほか、令和5年度には、要支援者の位置情報を地図上に示すシステムを導入しております。

今後は、こうした情報を活用しながら個別避難計画を策定し、要支援者の避難に繋がる「共助」について、取り組みを進めてまいります。

いずれにいたしましても、近年、激甚化・頻発化している自然災害から町民の生命と財産を守るためには、災害対応における想定外をなくし、あらゆる事態に対応していくことが重要と考えますので、今後も国や県、地元町内会等と連携を強化しながら、これまで以上に災害に強いまちづくりに努めてまいります。

以上であります。

○議長（皆川鉄也君） 10番議員、再質問ありませんか。10番門脇直樹君。

○10番（門脇直樹君） 私は日本海中部地震の体験者であります。町長は、日本海中部地震の犠牲者が秋田県で何名いたか、ご存じでしょうか。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの再質問に対し、当局の答弁を求めます。

○10番（門脇直樹君） 知らなければ知らないでいいです。

○議長（皆川鉄也君） 堀内町長。

○町長（堀内満也君） すいません、全県体ではちょっと承知していないところでございます。

○議長（皆川鉄也君） 10番議員、ほかに質問ございませんか。10番門脇直樹君。

○10番（門脇直樹君） 秋田県では83名であります。そのうち、津波で亡くなった方が79名です。八峰町に限って言えば、まず地震の被害、家屋の損壊とか土砂崩れとかはほとんどなかったもので、犠牲者は、まず津波だけと言っていいと思います。実際私も、当時は救助に走り回りました。そうやって考えると、津波に特化した避難訓練が絶対必

要だと思うんですよ。例えば9月1日に総合防災訓練、計画してますよね。どこでやるんだっけ、これ。浜田、浜田。峰栄館。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの10番議員の質問に対し、答弁を求めます。工藤防災まちづくり室長。

○防災まちづくり室長（工藤善美君） 門協議員のご質問にお答えします。

9月1日に行われます県の総合防災訓練は、今まだ予定の段階ではございますが、峰栄館を会場にいたしまして開催する予定となっております。内容にいたしましては、まず峰浜というふうな地域性もございまして、あくまで避難訓練の設置・運営訓練、それから、その場所にヘリコプターで物資を運んできますので、その物資の供給の受け入れ訓練、それから避難所に設置されております炊き出し等の訓練を開催する予定となっております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。10番門脇直樹君。

○10番（門脇直樹君） そういう訓練も必要かもしれませんが、各自治会によって、あくまでも津波対応ですよ。各自治会を見ると、みんな地形とか住んでる人の状況とか違うわけですよ。浜田に限って言えば、高台まで一番遠い、距離があるのが浜田であります。例えば浜田の下は、鹿の浦方面、高台に逃げればいいですよ。あと浜田の上から古屋敷にかけては、本館方面に逃げればいいですよ。そうすりゃあ町長の自宅周辺、浜田中央部はどこへ逃げるのか。あの田んぼの中の避難路を線路に向かって突っ切る。ところが雪があって進めない。だからそういうね目的意識を持った状況を想定した避難訓練が必要だと思うんですよ。ただ単にね避難訓練本部を作って、ああ、みんなここに集まってくださいとか、そういう避難訓練はあんまり必要じゃないと思うんですよ。滝の間でも避難訓練をやりました。リヤカーを使って、浜から高齢者を乗せたことを想定して、コミセンの坂道をリヤカーで上がりました。これは雪のない時期だからできた避難訓練であって、冬場にあそこをリヤカーで登ることは、まずほとんど不可能です。だからそういう自治会の地域性に合った、目的意識を持った避難訓練、これが避難対策の一丁目一番地じゃないですか、町長。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの10番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） 議員おっしゃるとおりでございます。私も先ほどの答弁で申し上げましたが、やはり想定外をなくして避難を行う、これがやっぱり大事だというふ

うに思っております。あらゆる状況を想定して、冬場でもですね、しっかりと避難できるような体制、こういったところが非常に重要であると思っておりますので、町としても各自治会に対しましてですね、夏場の訓練だけでなく冬場の避難訓練もしていただくよう、協力を仰いでいきたいと思っております。

○議長（皆川鉄也君） ほかに質問ございませんか。10番。

○10番（門脇直樹君） くどいようですが、避難訓練は何回やっても無駄ということはありせん。例えば冬場の夜中に地震が発生して停電になる。真っ暗なのをどうやって逃げますか。二次災害にも繋がります。行政っていうのは、最上を望んで、最悪に備えた計画を立てるのが行政であります。その辺を十分考えた避難訓練、避難行動を住民に周知していただきたいと思っております。もう一度だけ答弁。

○議長（皆川鉄也君） ただいまの10番議員の質問に対し、答弁を求めます。堀内町長。

○町長（堀内満也君） いずれ冬場であっても夏場であっても、先ほど、夜であっても朝であってもですね、いつ来るか分からないのがやはり地震なり、津波であると思っております。そういった災害にですね、しっかりと対応できる準備、これが非常に大事であるというふうに考えておりますので、引き続き町としてもしっかりと対応してまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（皆川鉄也君） 10番議員、ほかに質問ありませんか。

○10番（門脇直樹君） ありません。

○議長（皆川鉄也君） これで10番議員の一般質問を終わります。

休憩いたします。10時52分から再開いたします。

午前10時46分 休 憩

.....

午前10時52分 再 開

○議長（皆川鉄也君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

先ほどの町長答弁に訂正部分があるようでございますので、これを許します。堀内町長。

○町長（堀内満也君） すいません、先ほど笠原議員の質問の中で、旧八森庁舎跡地の募集を今止めてると、ホームページに載ってないと話をちょっとしたんですけども、3月の29日まで募集期間になっておりまして、現在もホームページには載せて、募集して

おりますといったところでございますので、そこはちょっと訂正させてください。

以上です。

(以下、3月14日会議録の関係部分抜粋)

○議長（皆川鉄也君） 堀内町長より13日の一般質問について発言を求められておりますので、これを許します。堀内町長。

○町長（堀内満也君） さきの門協議員からの一般質問において、「除雪が困難な避難路に関しましては、冬期間は閉鎖とし」というふうな答弁をしたところでございますけども、これを修正し、「避難路の状況周知や、必要に応じて自治会や地域の人に除雪の協力を求めていく」という形で答弁を修正いたします。よろしくお願いいたします。